

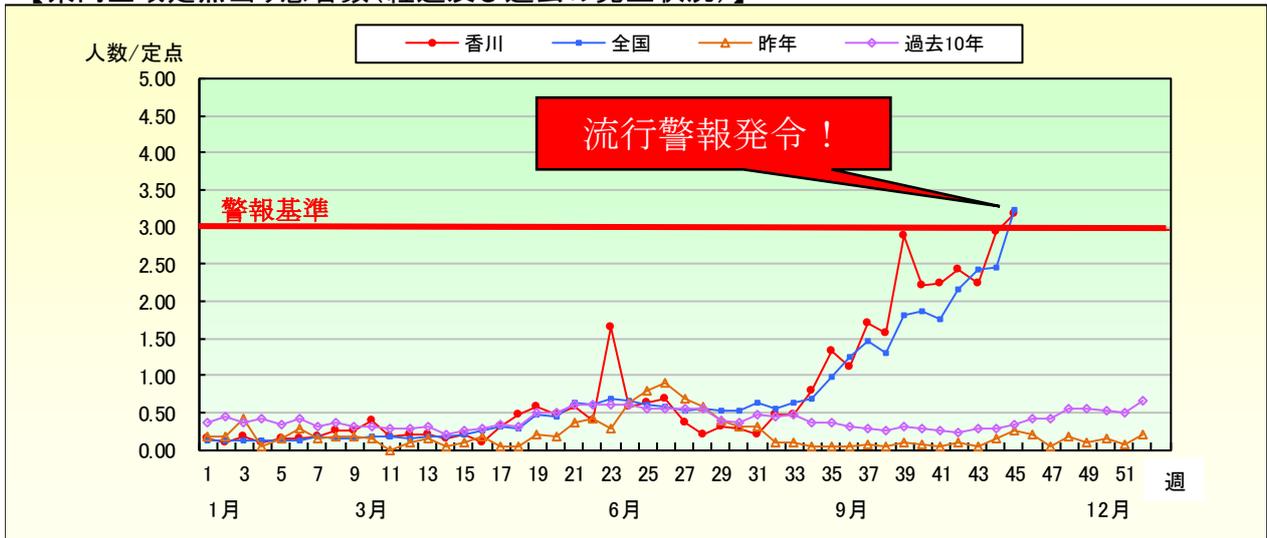
咽頭結膜熱流行警報発令！

咽頭結膜熱は、小児の急性ウイルス感染症であり、特に5歳以下に多く流行します。

香川県では、9月頃より定点医療機関からの報告数が増加しはじめ、第45週（11月6日～11月12日の週）では、1定点医療機関あたり3.18人となりました。今後、さらに流行する可能性がありますので注意が必要です。

大人へも感染するので、石けんと流水による手洗いなど感染予防に努めましょう。

【県内全域定点当たり患者数(経過及び過去の発生状況)】



○咽頭結膜熱とは？

咽頭結膜熱とは、アデノウイルスの感染により、発熱（38～39度）、のどの痛み、結膜炎といった症状を来す、小児に多い病気です。通常、夏季に流行しますが、冬季にも流行が見られることもあります。

○感染経路は？

通常、咳やくしゃみなどのしぶきに含まれるウイルスによる感染（飛沫感染）、あるいは、ウイルスが付着した手やタオルなどの触れたものを介する感染（接触感染）です。感染力が強いので、子どもが感染した場合は、家庭内に広がることもあります。

○症状は？

発熱で発症し、頭痛、食欲不振、全身倦怠感、咽頭炎（のどの痛み、腫れ）、結膜炎（目の充血、痛み、目やに）があり、まぶしかったり、涙がでたりします。

特別な治療法はありませんが、対症療法が中心となり、ほとんど自然に治ります。吐き気、頭痛の強い時、咳が激しい時は早めに医療機関に相談してください。

予防のポイント 家族みんなで取り組みましょう

☆アルコール消毒が効きにくいいため、こまめに石けんと流水による手洗いをしましょう。

☆感染者との密接な接触は避けましょう。

☆タオルや食器の共用は避けましょう。

